

女性労働者活躍推進事業所

学校法人 聖マリア学院

■業 種／大学(看護学部看護学科)、専攻科(助産学専攻)、大学院(看護学研究科看護学専攻)
■常用労働者数／66人(男性17人、女性49人) ■所在地／久留米市津福本町422

取り組み内容

- 職場において待遇の男女均等化を進め、一性(女性・男性とも)の管理職の割合が30%以上かつ各2人以上を達成している。管理職:女性6人(学院長1人、ほか5人)、男性7人(理事長1人、ほか6人)、女性管理職の割合46%である。
- 教員(正規職員)の採用は、男女ともに、すべて公募で行い、同じ選考基準で公平に採用している。また、職員の評価は、教員では研究論文や学会での積極的な発表があるか等、客観的な実績に基づいて判断している。

学院の理念を基に、
性別、年齢、職種の区別なく能力が発揮できる職場

『カトリックの愛の精神(慈愛の精神)』を教育理念に掲げ、大学、専攻科、大学院からなる聖マリア学院。学院長をはじめ学部長、研究科長など女性が管理職として活躍し、数多くの看護師を育成し輩出しています。

「性別、年齢に関係なく個人の能力に応じてポストを与えています。女性は育児休業制度や時差出勤制度を活用して復職率は100%のうえ、院内保育所を設けているため、安心して働くことができます。そうしたことから女性の勤続年数が伸びています。また、大学においては専門性が深まってきており、教員には潤沢な研究費をそなえて、積極的に研修に参加してもらっています」と、井手三郎理事長。

研修には、性別や教員・事務職員の区別なく参加が可能。マネジメントや人間関係などを学ぶような外部研修にも参加しています。また、ハラスメントの相談員を男性女性ともに置き、男女ともに働きやすい環境を整えるとともに、職員のみならず学生の相談も受けています。



理事長・学長
い で さぶ ろ う
井手 三郎 さん



▲聖マリア学院大学 池田展子さん(左)と日高艶子さん(右)



▲日高さんと学生(ゼミナール)



大学院の授業▶

看護学部長の日高艶子さんと教務部・教務課長の池田展子さんは次のように語っています。

「男性・女性、教員・職員ではなく、教育理念を共有し合う者として、学生の人格の成熟と看護実践能力の成熟を目指して本学の教育に携わっています。教員と職員がお互いを尊重し合い、協働することで一人一人の学生への理解が深まり、一貫した学修支援活動に繋がります。ここから世界にメッセージを発信するぞ!という気持ちで、これからも教職員一丸となり頑張っていきたいと思っています」

日高さんは、国内だけでなく世界に向けて研究成果を発表したり、学会に積極的に参加したりして、実績を積み重ねています。



聖マリア学院大学 図書館 外観▶